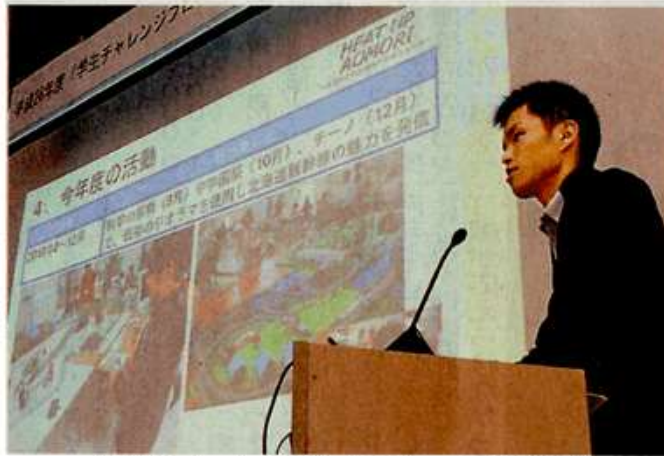


東奥日報

2017年(平成29年)6月13日 火曜日 (14)

八工大生「チャレンジプロジェクト」 1年間の活動成果 堂々と



「学生チャレンジプロジェクト事業」の成果を発表する八戸工業大学の学生

八戸市の八戸工業大学(長谷川明学長)はこのほど、「学生チャレンジプロ

八戸

ジェクト事業」の2016年度の成果発表会を同大で行った。大学側の助成を受けて、活動、研究を行った大学院生や学部生が取り組

み内容を報告した。

同プロジェクトは学生の自発的なチャレンジ活動への支援を目的に、2013年度から行われており、16年度で4回目。学生有志の企画を大学側が審査し、採択した企画について経費などを助成している。発表会では、学生や長谷川学長をはじめとする教員らが見守る中、八つの学生チームが1年間の調査研究やボランティア活動の成果をスライドにまとめて発表した。

このうち感性デザイン学科4年の高橋メイさんらのグループは、2014年度に同プロジェクトの援助を受けて学生らが商品化し

た、八幡馬の折り紙「はちおり」の市場展開のため、同市の馬信仰を伝える教材として利用することを提案。子どもに親しみを持ってもらえるように、分かりやすい折り方や折り紙のデザインを考案したことを報告した。

青函圏の観光資源のPRのためにジオラマを製作した「ぐっJOBNEXT」のリーダーを務めた電気電子システム学科3年の葛西翔大朗さんは「青森県の魅力がどうすれば伝わるか試行錯誤した。意見をまとめるのは難しかったが貴重な経験ができた」と満足げに話した。(高松拓輝)

※ 「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」